

進路だより



～一緒に夢を見 一緒に夢を語り 一緒に夢を遡る～

〈西高桜咲かせ隊〉 進路指導部

「鉄は熱いうちに打て」

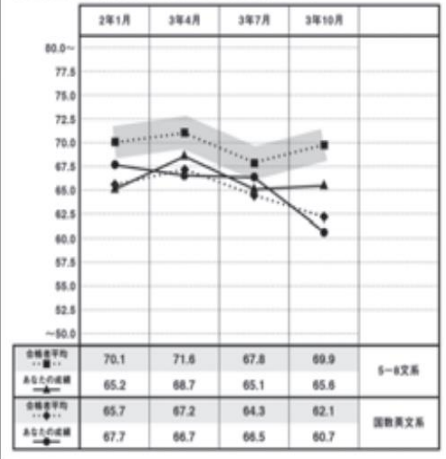
11月2日(土)、1, 2年次は進研総合学力テスト、3年次はベネッセ駿台共通テスト模試が行われました。

3年次の成績推移表には、昨年合格した生徒の平均が常に載っています。自分の成績を分野別に見て、これからどこを伸ばせるか、『のびしろ』を把握、記述とマークの現時点の実力バランス(ドッキング判定結果)を確認して、残りの時間で何を完成させるか計画を見直そう。受験予定校は共通テストと個別試験、どちらの比重が大きいのかを調べた上で、今後の学習計画を調整しよう。

推薦など早期の受験で終わったとしても、全国レベルで見た時、入学した生徒の中で自分がどの位置にいるかを判断する基準になるのが、模試の成績です。入学まで自分を磨く材料として、活用してください。

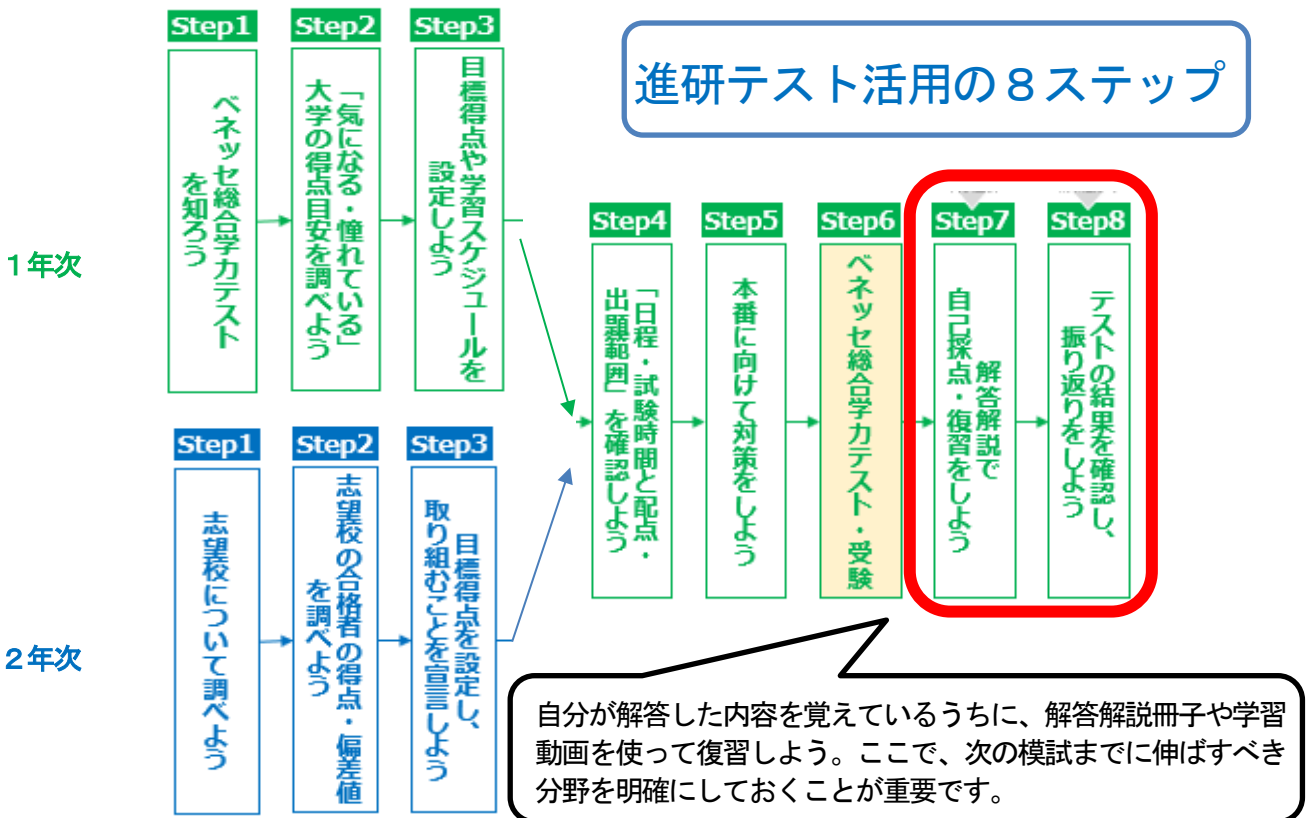
現時点で、判定が伸びていないとしても、実際出願するまでにはおよそ2か月残っています。現時点でのA, B判定の生徒数が少なく、実際の受験時にあきらめずにチャレンジすればチャンスが広がる学校もあります。「判定が悪いから志望校を変える」ではなく、自分がやりたいことをやるために、学びたいことを学ぶために、模試結果をしっかりと振り返り学習し続ける！です。将来のために前を向く材料にいきましょう。

第1志望校の合格者平均[偏差値推移]との差



合格生徒の平均と自分の平均点が比較できる。グレーは合格者の得点分布。

1, 2年次の皆さん「進研テスト活用の8ステップ」をもう一度確認します。



1年次生は、秋時点で「学習内容」がどの程度定着しているかを測定します。また、全国の同級生たちの中で、自分の実力がどこに位置づいているかを知ることができます。2年次生は今回から出題が5教科となりました。このテストの受験を機に、**5教科をバランスよく身につけることを意識していきましょう。入試は総合的な学力で合否が決まります。その足場固めのスタートです！**

1、2年次とも得意・不得意分野をしっかりと把握して、**これからの授業で、どれだけ得意の伸長と苦手の克服、特に1年次は苦手分野を作らないことができるかが重要**です。自分の武器(受験を戦い抜く力)を持つ余地も時間もまだまだあります。大切なのは、日々の授業の中でその力を蓄えられるかどうかです。

定期考査前は試験範囲の基礎知識を理解し、その内容を長期記憶として定着できるようにしっかりと演習する。そして、模試ごとに模試に向けた学習(8ステップ)を継続していけば力はどんどんついていきます。

「目標設定→結果確認→復習」という学習のサイクルで、実力を高めていこう！

さて、11月22日(金)からは後期中間考査が始まります。ここでは、

「なぜ定期考査を頑張る必要があるのか」

というテーマについて、東大生・早慶生が編集した進学情報誌「合格サプリ」の記事を紹介します。

① 勉強する**習慣・計画性**が身につく

勉強を頑張る癖をつけたり、勉強することへの抵抗感を減らしたりできます。定期テストでよい点を取るには、限られた時間の中ですべての試験範囲を復習する必要があります、1日にどれだけ学習するかを考えることで、計画性も身につく！

② 真面目に取り組めば**苦手分野**がわかる

しっかり勉強した！のに解けない……それはあなたの苦手分野です。定期テストは「やればできる問題」＝努力不足の問題と、「やってもできない問題」＝**苦手分野の問題を判別する**機会でもあります。真面目に勉強するからこそ、定期考査で**苦手分野の識別**でき、克服するチャンスを得るのです！

③ 各単元の**基礎的な内容を定着**させられる

授業で習った基礎的な内容を扱うため、テスト勉強を毎回行っていれば、全科目の基礎が自然と定着します。英語の文法や数学の公式といった主要科目の基礎は、覚える量が膨大なので、高1、2年の頃からコツコツと身につけるべき。高3になってから焦らないために！

④ 成績が良いと推薦入試に有利

大学入試の制度には、高校での成績を利用した推薦入試があり、導入大学は年々増加しています。そこでは高校1年生からの成績が参考資料に使われ、**評定基準を上回らないと出願さえできない場合も**。そのため、推薦入試合格には、定期テストの成績が非常に重要になります。**推薦だけを狙うのは本末転倒**ですが、後々受験できる大学の候補を増やすことができるかもしれないことは、忘れないでおきましょう。

④について、本校では「安易に推薦で決めよう」という出願は勧めません。理由は、現役生の学力は最後まで伸びるのに早期の受験で、学力の伸長を止めることになることや、合格した大学が第一志望ではなかったことによる後悔、入学後のミスマッチを招くことなどがあります。ただし、昨年度の国公立大学合格者63名のうち20名が推薦入試による合格者です。国公立大学では受験機会を増やすという捉え方もできます。

11月の進路に係る行事

- 全統プレ共通テスト模試: 11/16(土)
- 3年次受験スケジュール作成開始 : 11/14(木)
- 2年次保護者進路説明会 : 11/26(火)14:30~
- ☆ 後期中間考査 : 11/22(金)~27(水)

3年次生は、高校生活最後の定期考査(年度末考査)となります。